

様式例6（設立認可用）

開設しようとする病院（診療所、介護老人保健施設）の概要

名 称	〇〇病院			
所 在 地	〇〇市〇〇町一丁目一番一号	電話	〇〇〇（〇〇）〇〇〇	
所管保健所名	〇〇市保健所			
診療科名	内科、外科			
病床数等	<p>【病院・診療所】</p> <p>一般病床〇〇〇床、療養病床〇〇〇床（医療保険〇〇床、介護保険〇〇床）</p> <p>精神病床 〇〇床、感染症病床 〇〇床、結核病床 〇〇床</p> <p>【介護老人保健施設】</p> <p>入所定員〇〇〇名、通所定員 〇〇名</p>			
管 理 者	氏 名	〇〇 〇〇		
	(歯科)医籍	第〇〇〇〇〇〇〇号		
職 員	職 種	従 業 員 数	職 種	従 業 員 数
	医 師 歯 科 医 師 看 護 師 准 看 護 師 看 護 補 助 者 歯 科 衛 生 士 歯 科 助 手 薬 剤 師 栄 養 士 診療放射線技師 臨床検査技師	常 勤 〇〇人 非常勤 〇〇人 常 勤 〇〇人 非常勤 〇〇人	歯 科 技 工 士 理 学 療 法 士 作 業 療 法 士 柔 道 整 復 師 : : 事 務 員 労 務 員	常 勤 人 非常勤 人 常 勤 〇〇人 非常勤 〇〇人 常 勤 〇〇人 非常勤 〇〇人
敷 地	〇〇, 〇〇〇㎡（うち借地〇〇, 〇〇〇㎡）（付近案内図及び平面図添付）			
建 物	延〇〇, 〇〇〇㎡（構造、用途及び各室の面積を示す図面）			
	鉄筋コンクリート〇階建 延べ〇〇, 〇〇〇㎡（外来、診療棟） ①診 療 室 〇〇室 ㎡ 内 科 ㎡ 外 科 ㎡ ②処 置 室 ㎡ 内 科 ㎡ 外 科 ㎡ ③調 剤 室 ㎡ ④手 術 室 ㎡ ⑤臨 床 検 査 室 ㎡ ⑥エ ッ ク ス 線 室 ㎡ : :			

	⑩病棟 ○○室 <span style="float:right">m<sup>2</sup></span> ○○病棟 ○○人×○○室=○○○人（一般） ○○人×○○室=○○○人（一般） ○○人×○○室=○○○人（一般） ○○病棟 ○○人×○○室=○○○人（一般） ○○人×○○室=○○○人（一般） ○○人×○○室=○○○人（一般） : ⑭事務室 <span style="float:right">m<sup>2</sup></span> ⑮医局 <span style="float:right">m<sup>2</sup></span> ⑯医療宿直室 <span style="float:right">m<sup>2</sup></span> 医師 <span style="float:right">m<sup>2</sup></span> 看護師 <span style="float:right">m<sup>2</sup></span> その他 <span style="float:right">m<sup>2</sup></span> ⑰厨房 <span style="float:right">m<sup>2</sup></span> ⑱洗濯施設 <span style="float:right">m<sup>2</sup></span> : ⑳従業員宿舎 <span style="float:right">m<sup>2</sup></span> 医師用（所在地） <span style="float:right">戸（室）</span> 看護師用（所在地） <span style="float:right">室（人用）</span> :
診療日	日曜日及び祝日を除く毎日
診療時間	月曜日から金曜日まで 午前○○時から午後○○時まで 土曜日 午前○○時から午後○○時まで
非常勤医師の勤務状況	氏名 ○○ ○○（内科・小児科） 月 午前○○時から午後○○時まで 氏名 ○○ ○○（宿直） 火・木 午前○○時から午後○○時まで
協力病院 (老健施設の場合)	名称 所在地

[添付書類] 書面の条件等の詳細は次ページ参照

- 1 医療関係有資格者一覧表
- 2 医療関係有資格者の免許証の写し
- 3 施設周辺の概略図
- 4 敷地平面図
- 5 公図
- 6 建物平面図
- 7 土地、建物を賃貸借に関する書類

## 開設しようとする病院（診療所、介護老人保健施設）の概要に添付する書類

### 1 医療関係有資格者一覧表

- (1) 資格名、氏名、生年月日、免許取得日、免許証番号を記入すること。

### 2 医療関係有資格者の免許証の写し

### 3 施設周辺の概略図

- (1) 最寄りの駅、主要道路、目標となる構築物等を記入すること。
- (2) 方位を記入すること。

### 4 敷地平面図

- (1) 敷地の形状、及び敷地内建築物の位置・形状が明記されていること。
- (2) 敷地の所有者が2人以上の場合及び抛出等する土地と借地がある場合は、各々色分けすること。
- (3) 方位を記入すること。

### 5 公図

### 6 建物平面図

- (1) 構造、各室の用途及び面積が明確であること。
- (2) 建物の所有者が2人以上の場合（区分登記されている場合）及び自宅等が併設され、法人として使用、賃借等しない部分がある場合は、各々色分けすること。
- (3) 縮尺を記入すること。（縮尺は任意であるが、100～200分の1程度が望ましい）
- (4) ビルの一室で開設する場合は、フロアの全体図。

### 7 土地建物を賃貸借する場合は、下記の書類

- (1) 賃貸借契約書（写し）※…特別な関係のある者等と契約する場合は、賃料の積算根拠及び資料を添付すること。
- (2) 覚書（様式例7）…従来、第三者と個人で契約している不動産を、法人が引き続き賃借する場合。内容には最低限、以下の事項を記載。
  - 賃貸人を個人から法人に引き継ぐための「読替の特約」
  - 長期間（最低10年）賃貸借契約を継続することの保証
- (3) 不動産登記の登記事項証明書（ただし、いわゆる雑居ビルの一室で開設する場合は、「土地の登記事項証明書」は添付する必要はないこと。）

※ 医療法人設立時に土地・建物賃貸借契約書を作成するにあたっては、特約条項として「本契約は、群馬県知事の医療法人設立認可の日をもって発効するものとし、同法人設立のうへは、(乙)の表示は医療法人〇〇会理事長〇〇〇〇と読み替えるものとする。」を加える。